

基本理念

目的（存在理由）

社会への貢献

わたしたちは、社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観（不変の主義）

1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々*に対し、揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第43期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）
年次報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における日本経済は、東日本大震災によって生産設備の毀損や福島原子力発電所の事故による電力不足など生産・輸出を中心に大きく落ち込みましたが、サプライチェーンの復旧など比較的早いペースで回復しました。その後、円高の進行や海外経済の減速の影響を受け、足踏み状態となりましたが、設備投資の増加や雇用改善の動きが見られるなど景気は持ち直しつつあります。

このような状況の中、当社は東日本大震災の被災地域において、約2,000戸の応急仮設住宅を建設しました。ま

た、仮設現場事務所や店舗、庁舎など、被災地の需要増加に優先的に対応するなど復興支援に全力で取り組んでいます。必要な時に必要なスペースを必要な設備とともに提供する——当社のユニットハウスは、このような有事の際にも役に立つと確信し、被災地および日本の復興に向け、全社一丸となって努力を続けていきます。

今後とも創業当時から受け継がれてきたフロンテアスピリッツ（開拓の精神）を原点に、社会に貢献する会社を目指し、失敗を恐れず情熱をもって活動していきます。

当連結会計年度（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の業績について

東日本大震災からの復興に向けて全力をあげる一方で、ここ数年来注力してきた展示場やトランクルームの積極的な出店も続け、当期において展示場100店舗トランクルーム100店舗を達成しました。出店による販路拡大とともに、本建築市場・不動産市場の開拓にも継続して取り組みました。

当連結会計年度における各事業の概況について、ご報告いたします。

ユニットハウスのレンタルにおいては、東北地域の需要に優先的に応えとともに、2010年度に開発したエアコンパネルの営業を強化し本格的に市場投入するなど付帯工事の受注獲得に努めました。トランクルームにおいては、新たに33店舗出店し、売上拡充に努めました。これらの結

果、レンタル料収入は14,888百万円となりました。

ユニットハウスの販売においては、直営の展示場を26店舗出店し、販売チャネルの拡充に努めるとともに、オフィスや店舗など本建築物の受注に注力しました。その結果、製品売上高は14,137百万円となりました。

その他の事業については、売上高は209百万円となりました。

上記の結果、当連結会計年度の売上高は29,234百万円となりました。

利益面においては、製造および施工現場での原価低減によって、営業利益4,942百万円、経常利益4,907百万円、当期純利益2,469百万円になりました。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活かし、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓し、業績の拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導・鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成24年6月

代表取締役社長 **長妻貴嗣**